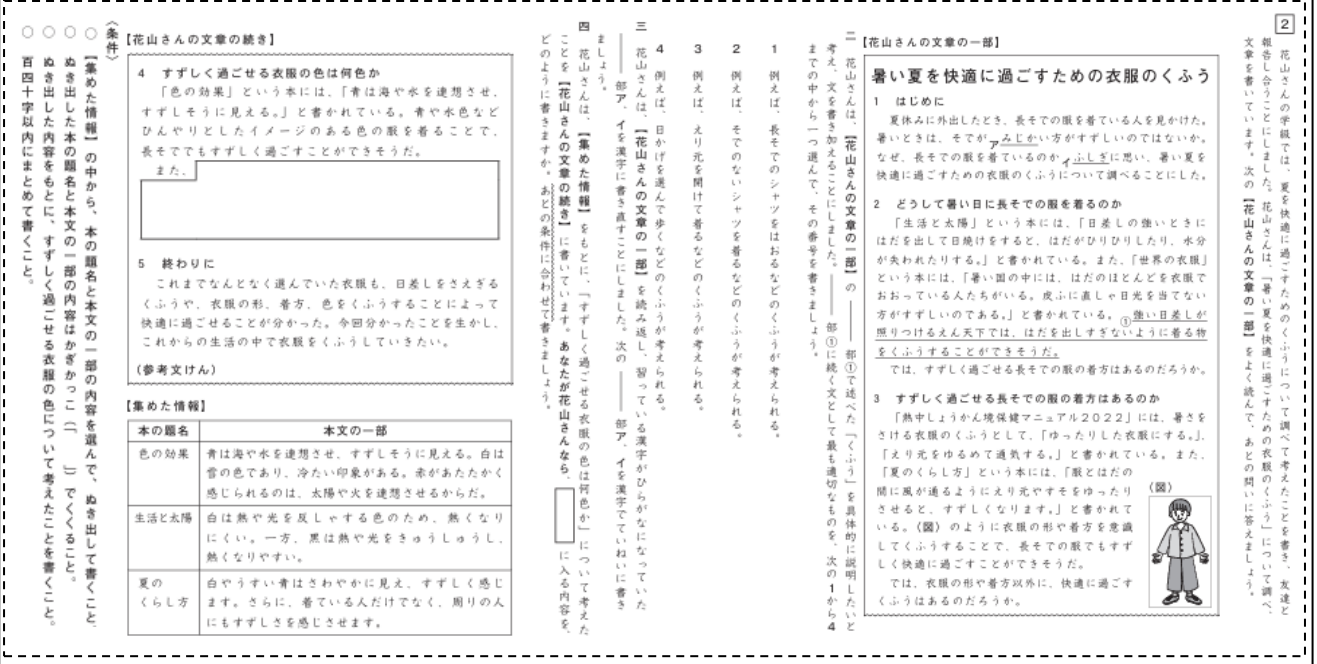
令和８年４月 23 日実施　全国学力・学習状況調査 【小学校　国語】 松山市の調査結果の概要

1 国語について

全国と松山市の調査結果を比較すると、平均正答率は、ほぼ同じ状況でした。

学習指導要領に示されている「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の領域は共に全国平均とほぼ同じ状況でした。

2 分析結果から特徴が見られた問



2 花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。次の【花山さんの文章の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1　はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2　どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3　すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル２０２２」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」、「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

〈図〉

二　花山さんは、【花山さんの文章の一部】の――部①で述べた「くふう」を具体的に説明したと考え、文を書き加えることにしました。――部③に続く文として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　例えば、長そでのシャツをはおるなどのくふうが考えられる。
2　例えば、そでのないシャツを着るなどのくふうが考えられる。
3　例えば、えり元を開けて着るなどのくふうが考えられる。
4　例えば、日かげを選んで歩くなどのくふうが考えられる。

三　花山さんは、【花山さんの文章の一部】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていたところを、漢字に書き直すことにしました。次の――部ア、イを漢字でていねいに書きましょう。

四　花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、［　　］に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【花山さんの文章の続き】

4　すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そでででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、［　　］。

5　終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

（参考文けん）

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

〈条件〉

○　【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。

○　ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ（「　」）でくくること。

○　ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。

○　百四十字以内にまとめて書くこと。

2－二

正答　1

全国の正答率　　48.9%　　松山市の正答率　　「全国の正答率をやや上回る」

2－三－イ

下線部を漢字で書く問題

ふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

正答　不思議

全国の正答率　　45.2%　　松山市の正答率　　「全国の正答率を大きく上回る」

2－四

正答　（例）　「生活と太陽」という本には、「白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。」と書かれている。特に強い日差しがえん天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができそうだ。

全国の正答率　　33.5%　　松山市の正答率　　全国の正答率とほぼ同じ

3 考察

2－二は、考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる問題です。本市の正答率は全国と同じく約 50%であり、「例えば、」という表現に続く内容が考えを支える事例であると捉えることができなかった児童が多くいたと考えられます。

2－三－イは、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題です。本市の正答率は全国の正答率を大きく上回っている一方で、「不」、「思」と解答していて「議」と解答していない児童の割合が全国平均を上回っていることから、画数が多い漢字を正しく書けない児童が多くいたと考えられます。

2－四は、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題です。引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが求められます。本市の正答率は全国とほぼ同じであったものの正答率は低かったことから、本文中から必要な情報を見付け、引用することはできていますが、自分の考えを書くことができなかった児童が多くいたと考えられます。

4 これからの学習にあたって

引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するためには、引用する目的を明確にした上で、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書くことが重要です。その上で、引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にし、区別して書くことが大切であると考えます。